27　リヤ　アクスル

仕　様……27－2
整備基準値……27－2
給油脂……27－2
シール剤……27－2
特殊工具……27－3
車上点検……27－4
　1．リヤ　アクスル総合バックラッシュの点検…27－4
　2．アクスル　シャフト軸方向の遊び点検，
　　調整……27－5
　3．ギヤ　オイル　レベルの点検……27－5
アクスル　シャフト……27－6
ディファレンシャル　キャリヤ……27－10

仕　様

項目				仕様
アクスル支持方式				半浮動式
アクスル　シャフト	長さ　mm		右　側	540
			左　側	750
ホイール　ベアリング	形式			テーパー　ローラー　ベアリング×2
	寸法（外径×内径）　mm			73.025×38.100
リヤ ディファレンシャル	減速機ギヤ形式			ハイポイド　ギヤ
	減速比			4.777
	差動機ギヤ形式			ストレート　ベベル　ギヤ
	歯　数	ドライブ　ギヤ		43
		ドライブ　ピニオン		9
		サイド　ギヤ		10
		ピニオン　ギヤ		14
	ベアリング（外径×内径）mm	サイド		82.931×42.875
		ドライブ　ピニオン　フロント		68.262×30.162
		ドライブ　ピニオン　リヤ		76.200×36.512

整備基準値

項目		標準値	限度値
リヤ　アクスル総合バックラッシュ　mm		－	5
アクスル　シャフト軸方向の遊び　mm		0.025～0.153	－
リテーナーの圧入力　N {kgf}	初期圧入力	39 000 {4 000}	－
	最終圧入力	59 000 {6 000}	－
リテーナーとスナップ　リングのすきま　mm		0 ～0.166	－
ドライブ　ギヤのバックラッシュ　mm		0.13～0.18	－
ドライブ　ギヤの背面の振れ　mm		－	0.05
ディファレンシャル　ギヤのバックラッシュ　mm		0 ～0.076	0.2
ドライブ　ピニオンの回転トルク　Nm {kgfcm}		0.8～1.3 {8～13}	－

給油脂

項目	容量	銘柄
ギヤ　オイル　dm³ {ℓ}	1.7 {1.7}	三菱純正ダイヤクイーン　ハイポイド　ギヤ　オイル（GL－4）

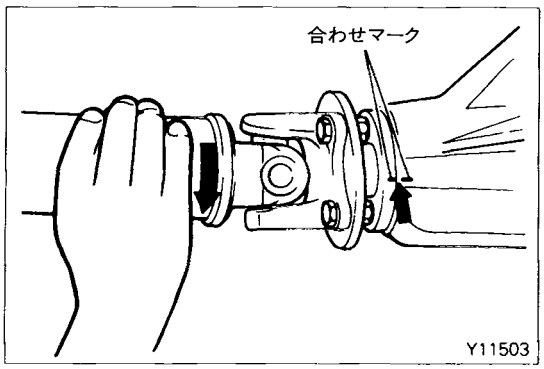
シール剤

使用箇所	純正用品名称
リテーナー Ass'y	半乾性シール剤：ヘルメシール201－52B又は相当品

特殊工具

工　具	番　号	名　称	用　途
	MB990763	アクスル　シャフト リムーバー	アクスル　シャフトの抜取り
	MB990211	スライド　ハンマー	・アクスル　シャフトの抜取り ・アクスル　ハウジング　オイル　シール の抜取り
	MB990212	アダプター	アクスル　ハウジング　オイル　シールの 抜取り
MB990939 MB990938	MB990925	ベアリング&オイル シール インストーラー	・アクスル　ハウジング　オイル　シール の取付け ・リテーナー　オイル　シールの圧入 ・ドライブ　ピニオン　ベアリング　アウ ター　レースの抜取り，圧入 各インストーラーの詳細はグループ26－特 殊工具参照
	MB990560	ベアリング リムーバー	アクスル　シャフト　ベアリングの抜取り
	MB990663	ベアリング&リテー ナー　インストーラ ー	・アクスル　シャフト　ベアリングの圧入 ・リテーナーの圧入
	MB990339	ローラー ベアリング プラー　セット	ドライブ　ピニオン　リヤ　ベアリング インナー　レースの抜取り
	MB990633	サイド　ベアリング リムーバー	サイド　ベアリング　インナー　レースの 抜取り
	MB990850	エンド　ヨーク ホルダー	コンパニオン　フランジの保持

工　具　番　号	名　称	用　途
MB990648	ベアリング　リムーバー	ドライブ　ピニオン　リヤ　ベアリング　インナー　レースの抜取り
MB990728	リヤ　ベアリング　インナー　レース　インストーラー	ドライブ　ピニオン　リヤ　ベアリング　インナー　レースの圧入
MB990567	ピニオン　セッティング　ゲージ　セット	ドライブ　ピニオン　ハイトの調整
MB990326	プレロード　ソケット	ドライブ　ピニオン回転トルクの調整
MB990699	ディファレンシャル　オイル　シール　インストーラー	ドライブ　ピニオン　オイル　シールの圧入
MB990802	サイド　ベアリング　インナー　レース　インストーラー	サイド　ベアリング　インナー　レースの圧入

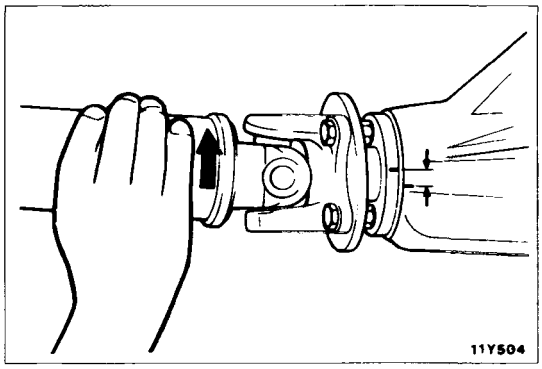


車上点検

1．リヤ　アクスル総合バックラッシュの点検

(1)トランスミッション　コントロール　レバー及びトランスファー　シフト　レバーをニュートラル位置にし，パーキング　ブレーキ　レバーを引いた後車体をジャッキ　アップする。

(2)プロペラ　シャフトを時計方向へいっぱいまで回し，コンパニオン　フランジのダスト　カバーと，ギヤ　キャリヤに合わせマークを付ける。



(3)プロペラ　シャフトを反時計方向へいっぱいまで回し，合わせマークの移動量を測定する。

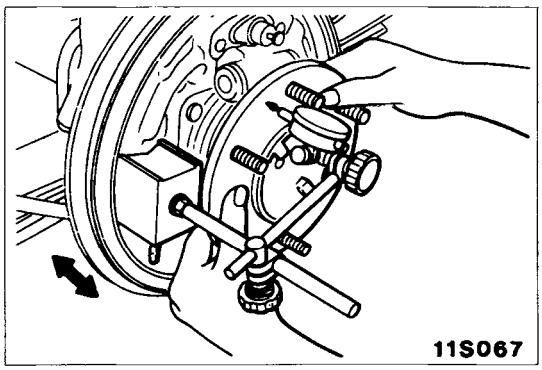
限度値：5 mm

(4)バックラッシュが限度値を超える場合はディファレンシャル　キャリヤ Ass'y を取外し次の箇所を点検する。

・ドライブ　ギヤのバックラッシュ（P．27－11参照）

・ディファレンシャル　ギヤのバックラッシュ（P．27－11参照）

2．アクスル　シャフトの軸方向の遊び点検，調整



(1)図示のようにダイヤル　ゲージをセットし，アクスル　シャフトを軸方向に動かして遊びを測定する。

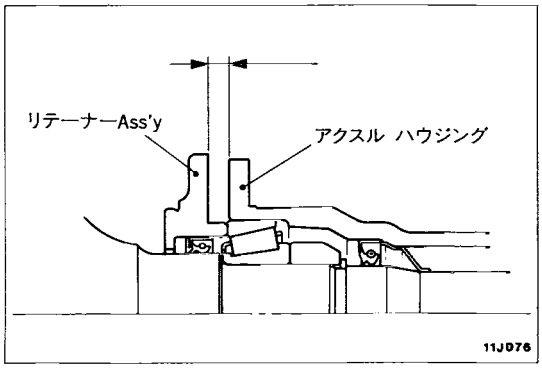
標準値：0.025～0.153mm

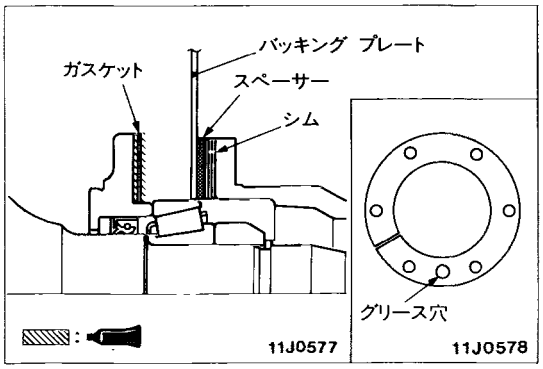
(2)遊びが標準値を外れる場合は右側アクスル　シャフトを次の要領で調整する。

a．アクスル　シャフト Ass'y をスペーサー，バッキング　プレート及びシム無しで取付け，ナットを対角線順に 2 回に分けて仮締めする。

b．図示すき間を 4 箇所以上測定し，測定箇所により誤差が無いことを確認する。

c．バッキング　プレート，スペーサー及びシムを合わせた厚さが測定したすき間より，0.025～0.153mm大きくなるようにシムを選択する。





d．アクスル　シャフト Ass'y を取外し，アクスル　ハウジングにバッキング　プレート，スペーサー及び選択したシムを組込む。

e．ガスケットの両面に指定シール剤を塗布し，アクスル　シャフト Ass'y を取付ける。

半乾性シール剤：ヘルメシール201－52B又は相当品

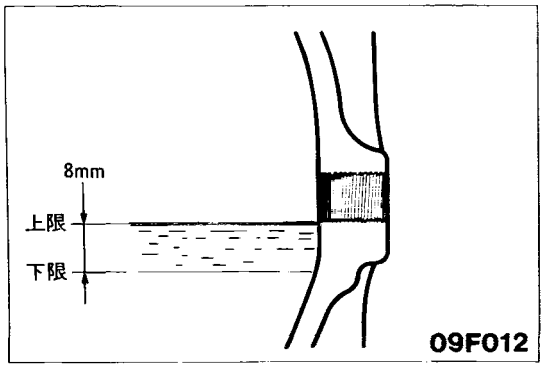
注　意

・スペーサー，シム及びガスケットは，アクスル　ハウジングのグリース穴を合わせて取付けること。

(3)軸方向の遊びが標準値以内であることを確認する。

標準値：0.025～0.153mm

3．ギヤ　オイル　レベルの点検



ギヤ　オイル　レベルが上限と下限の間にないときは，指定ギヤ　オイルを上限（プラグ穴下面）まで補給する。

ダイヤ　クイーン　ハイポイド　ギヤ　オイル（GL－4）

10℃以上：SAE90，10℃以下：SAE80

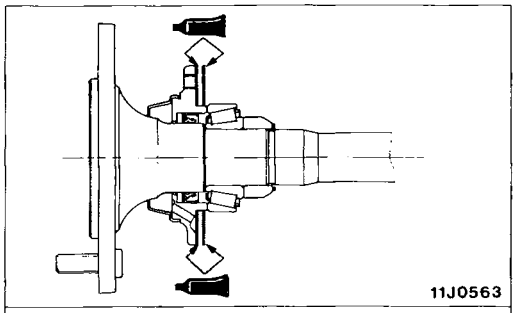
使用量：1.7dm³ {1.7ℓ}

アクスル　シャフト

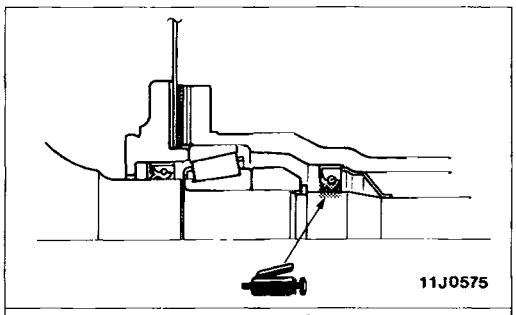
■取外し・取付け

取外し前の作業
・ブレーキ　フルードの抜取り

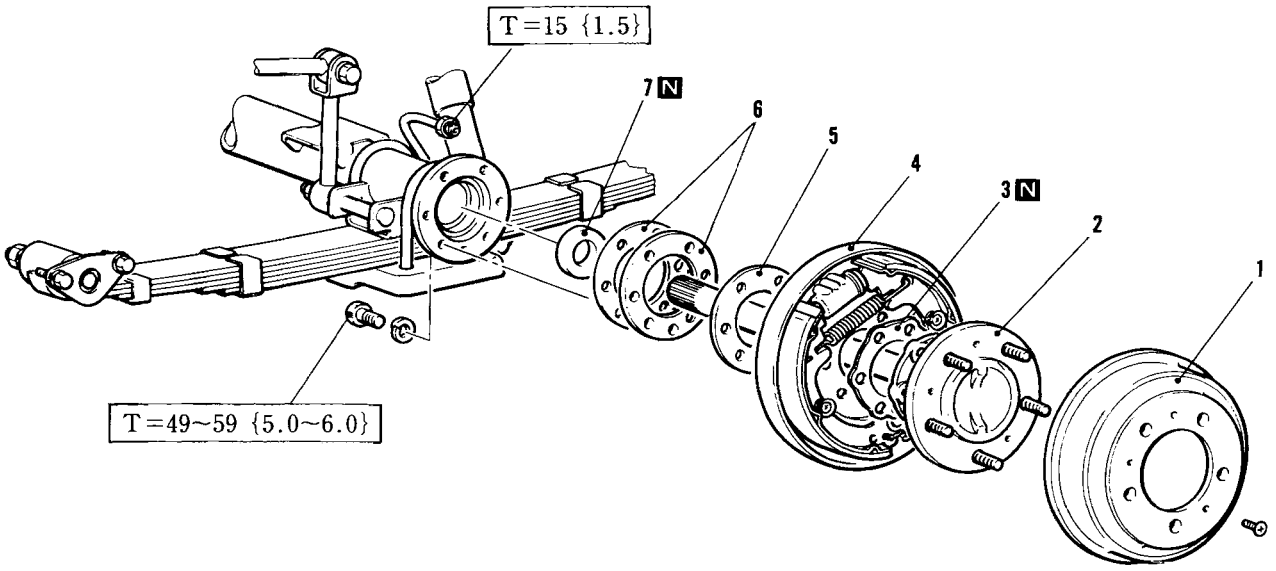
取付け後の作業
・ブレーキ　フルードの注入及びエア抜き
（グループ35A－車上点検参照）



ガスケット両面に塗布
半乾性シール剤:ヘルメシール201−52B又は相当品

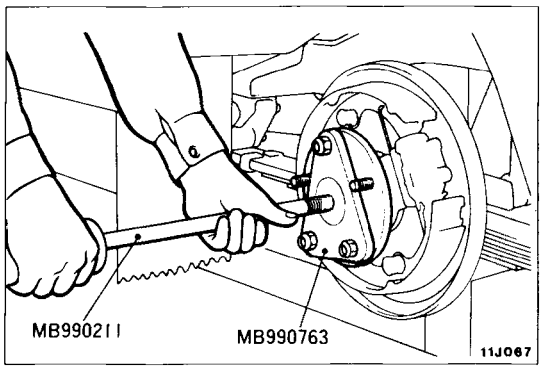


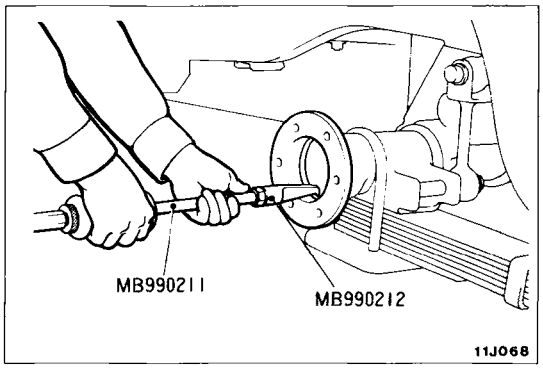
オイル　シールのリップ全周に塗布

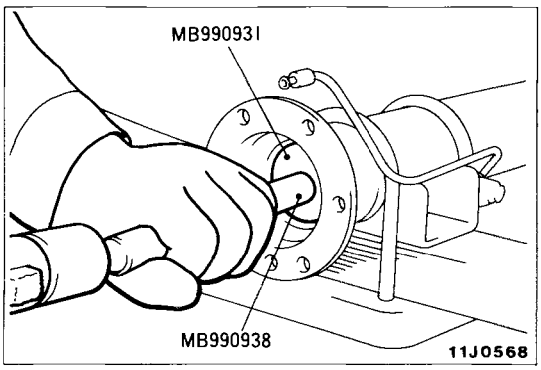


取外し手順

1．ブレーキ ドラム
● アクスル シャフト軸方向の遊び点検，調整（P.27-5参照）
◀A▶ 2．アクスル シャフトAss'y
3．ガスケット
4．シュー ライニングAss'y
5．スペーサー
6．シム
◀B▶▶A◀ 7．オイル シール







■取外しの要点

◀A▶　アクスル　シャフト Ass'y の取外し

アクスル　シャフトを手前に引きアクスル　ハウジングから抜き取る。

抜き取りが困難な場合は，特殊工具を使用する。

◀B▶　オイル　シールの取外し

■取付けの要点

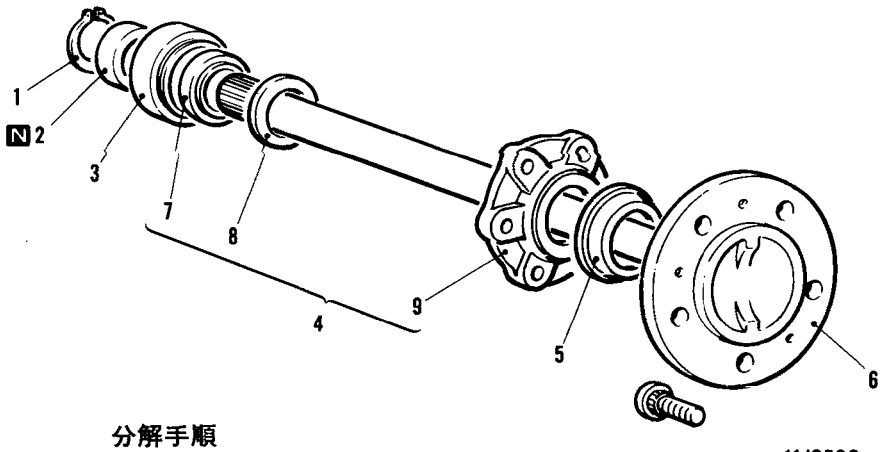
▶A◀　オイル　シールの取付け

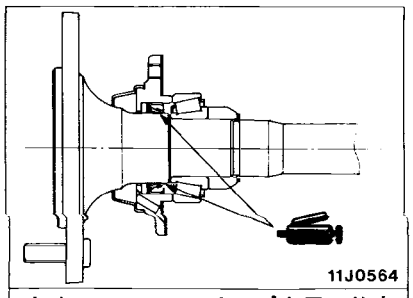
(1)アクスル　ハウジングとオイル　シールの接触面にマルチパーパス　グリースを塗布する。

(2)特殊工具を使用してオイル　シールを取付ける。

(3)オイル　シールのリップ部にマルチパーパス　グリースを塗布する。

■分解・組立

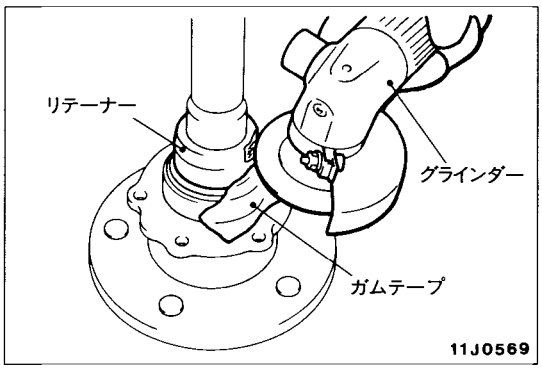


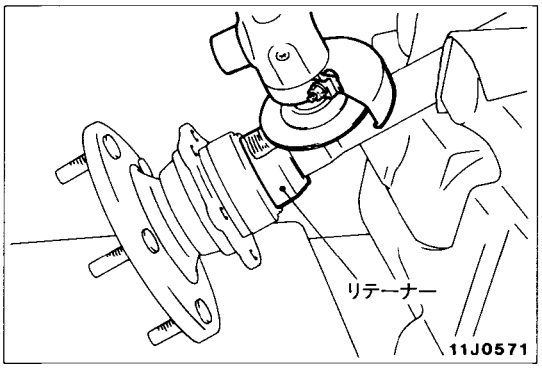


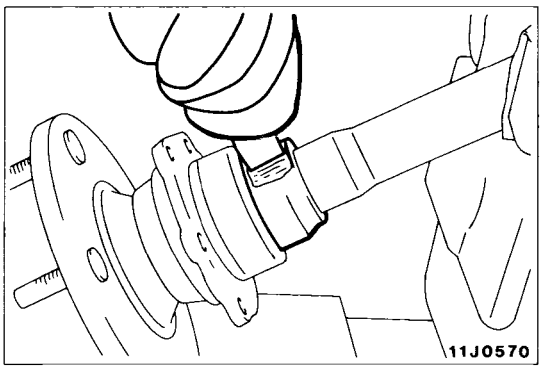
オイル　シールのリップ全周に塗布

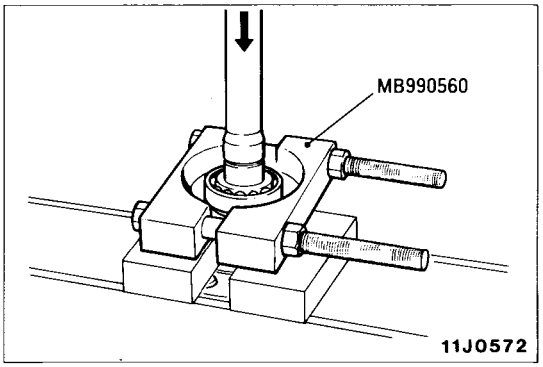
分解手順

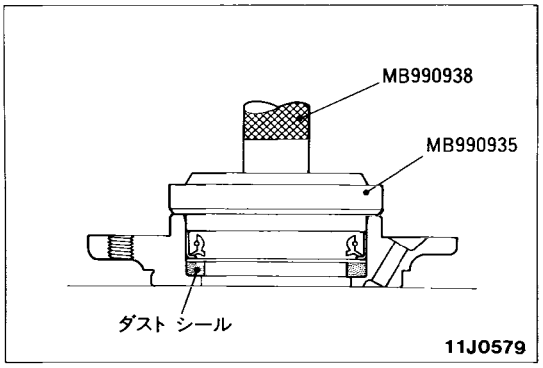
▶D◀ 1．スナップ リング
◀A▶▶C◀ 2．リテーナー
◀B▶▶C◀ 3．ベアリング
4．リテーナーAss'y
▶B◀ 5．ダスト カバー
6．アクスル シャフト
▶A◀ 7．オイル シール
8．ダスト シール
9．アウター リテーナー











■分解の要点

◀A▶　リテーナーの取外し

(1)ベアリング　ケース端面に布製のガム　テープを貼り保護する。

(2)アクスル　シャフトを固定し，リテーナーのアクスル　シャフト側の肉厚が1～1.5㎜，ベアリング側肉厚が2㎜くらいになるまでグラインダーで円周の一点を局部的に削り取る。

注　意

・ベアリング　ケース及びアクスル　シャフトに損傷を与えないようにすること。

(3)アクスル　シャフトを固定し，リテーナーのベアリング側肉厚残り2㎜を削り取る。

注　意

・ベアリング　ケース及びアクスル　シャフトに損傷を与えないようにすること。

(4)リテーナーの削り取った部分にたがねで割込みを入れて，リテーナーを取外す。

注　意

・アクスル　シャフトに損傷を与えないようにすること。

◀B▶　ベアリングの取外し

特殊工具を図示のように組付け，プレスを使用し，アクスル　シャフトからベアリングを取外す。

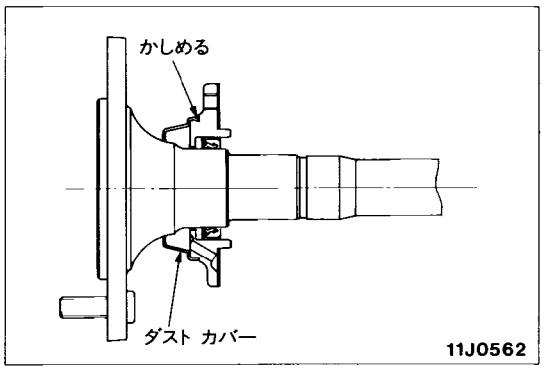
■組立ての要点

▶A◀　オイル　シールの取付け

(1)アウター　リテーナーとオイル　シール接触面にマルチパーパス　グリースを塗布する。

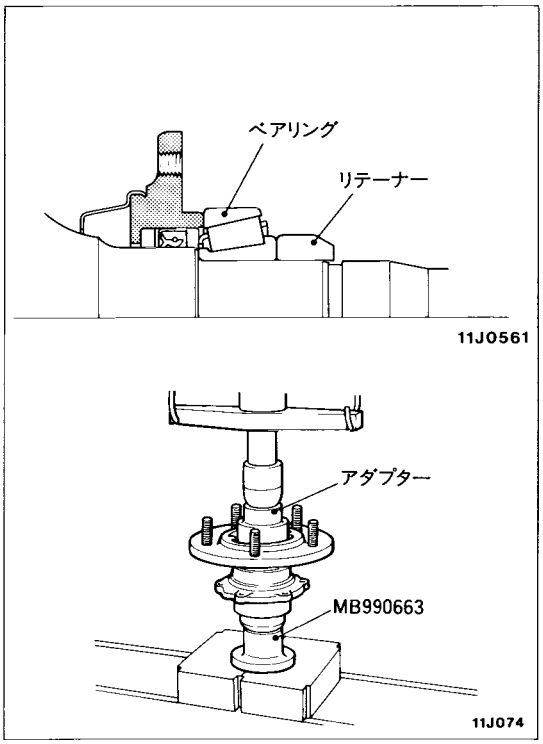
(2)特殊工具を使用してオイル　シールを図示向きに圧入する。

(3)オイル　シールのリップ部にマルチパーパス　グリースを塗布する。



▶B◀　ダスト　カバーの取付け

ダスト　カバーの緩んでいるもの又は交換したものは，ポンチ等を使用し3箇所かしめる。



▶C◀　ベアリング，リテーナーの取付け

特殊工具を使用してベアリング及びリテーナーを図示方向に圧入する。

リテーナーは圧入力が標準値になるまで圧入する。

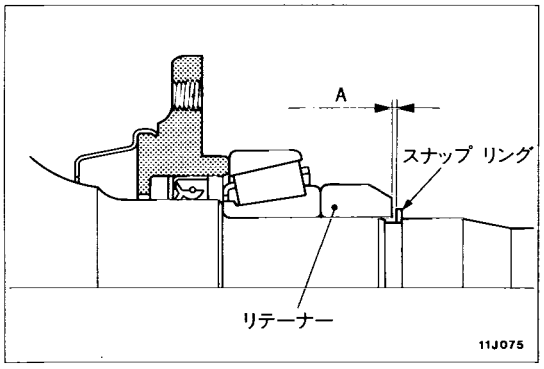
初期圧入力が標準値未満の場合は，アクスル　シャフトを交換する。

標準値：

初期圧入力　N {kgf}	最終圧入力　N {kgf}
39 000 {4 000} 以上	59 000 {6 000} 以上

注　意

・ベアリングとリテーナーを同時に圧入しないこと。



▶D◀　スナップ　リングの取付け

(1)スナップ　リングを組付けた後，スナップ　リングとリテーナー間（A）のすきまをシックネス　ゲージで測定し，標準値内にあるか点検する。

標準値（A）：0～0.166mm

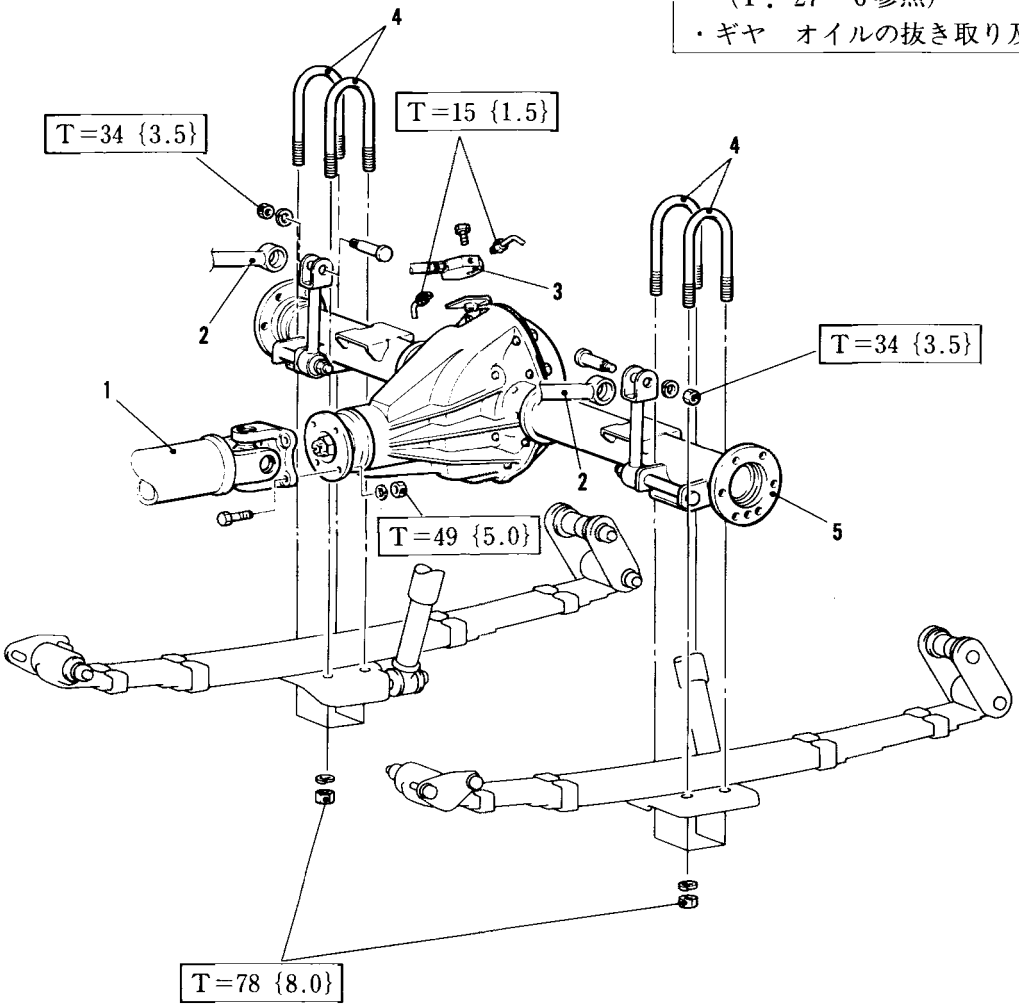
(2)標準値を超える場合は，標準値となるようにスナップ　リングを選択する。

スナップ　リングの厚み　mm	識　別　色
2.17	ー
2.01	黄
1.85	青
1.69	紫

ディファレンシャル　キャリヤ

■取外し・取付け

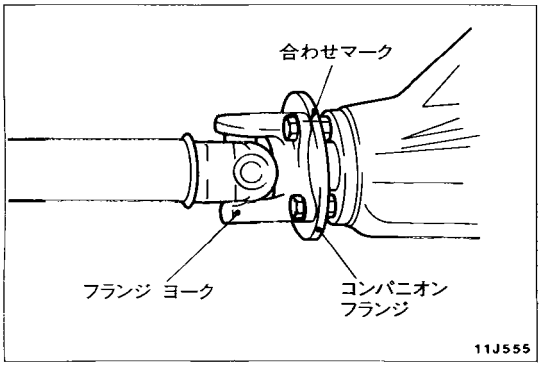
取外し前，取付け後の作業
・アクスル　シャフトの取外し，取付け
（P．27－6参照）
・ギヤ　オイルの抜き取り及び注入



11J513

取外し手順

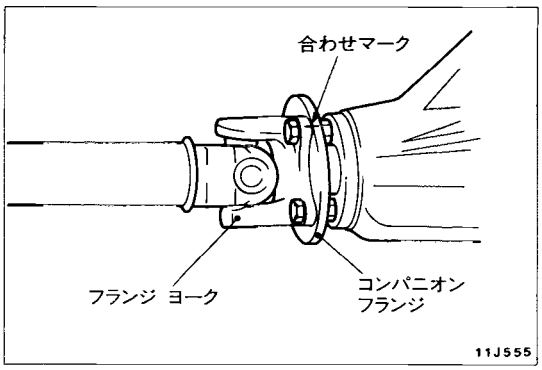
◀A▶▶A◀ 1．コンパニオン フランジとリヤ プロペラ シャフトの結合
2．スタビライザー バーの結合
3．コネクター3ウェイ
4．Uボルト
5．ディファレンシャル キャリア



■取外しの要点

◀A▶　コンパニオン　フランジとリヤ　プロペラ　シャフトの切離し

(1)コンパニオン　フランジとリヤ　プロペラ　シャフトのフランジヨークに合わせマークを付けて取外す。
(2)リヤ　プロペラ　シャフトを針金等で保持する。



■取付けの要点

▶A◀ コンパニオン　フランジとリヤ　プロペラ　シャフトの結合

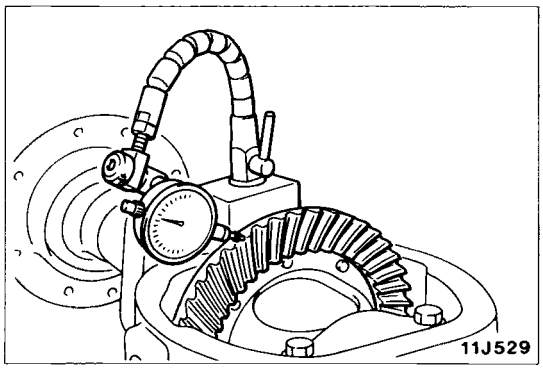
コンパニオン　フランジとリヤ　プロペラ　シャフトのフランジ　ヨークに付けた合わせマークを合わせて取付ける。

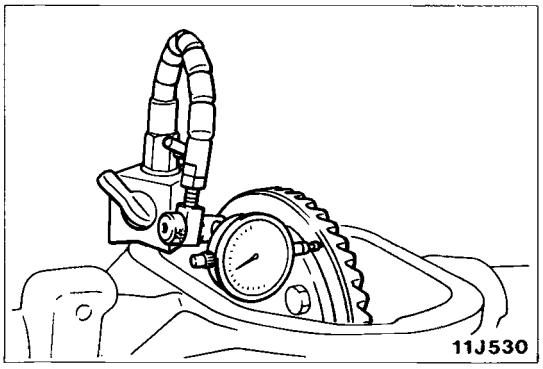
注　意

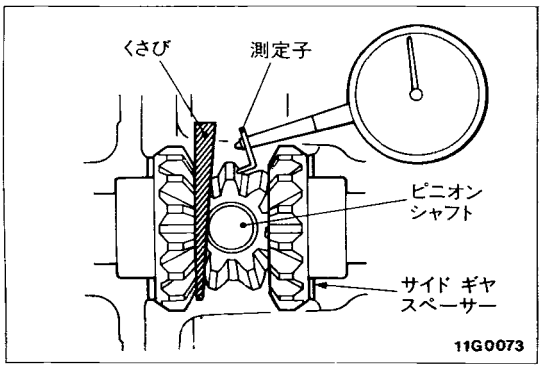
- **取付けボルト及びナットのねじ部にオイル，グリース等が付着していると，緩むおそれがあるので，ねじ部を脱脂してから締付けること。**

■分解前の点検

分解前の点検は，キャリヤ　カバー及びガスケットを外した後行ない，組付けの際ガスケットは新品を使用する。（P．27－12参照）







1．ドライブ　ギヤのバックラッシュの点検

次の手順でドライブ　ギヤのバックラッシュを点検する。

(1)ドライブ　ギヤ歯端面にダイヤル　ゲージを当て，ドライブ　ピニオンを固定し，ドライブ　ギヤを動かしてバックラッシュが標準値にあるか4箇所以上で測定する。

標準値：0.13～0.18mm

(2)バックラッシュが標準値を外れる場合はサイド　ベアリング　アジャスチング　シムで調整した後，ドライブ　ギヤの歯当りを点検する。

2．ドライブ　ギヤ背面の振れの点検

次の手順でドライブ　ギヤ背面の振れを点検する。

(1)ドライブ　ギヤの背面にダイヤル　ゲージを当て，ドライブ　ギヤを回転させ，振れが限度値以下にあるか測定する。

限度値：0.05mm

(2)振れが限度値を超える場合は，ドライブ　ギヤ背面とディファレンシャル　ケース間への異物の混入又はドライブ　ギヤ取付けボルトに緩みがないか調べる。

(3)(2)項が正規の場合はドライブ　ギヤとディファレンシャル　ケースの組合わせ位置を変更し，再度測定する。

(4)調整が不可能な場合は，ディファレンシャル　ケース又はドライブ　ギヤとドライブ　ピニオンをセットで交換する。

3．ディファレンシャル　ギヤのバックラッシュの点検

次の手順でディファレンシャル　ギヤのバックラッシュを点検する。

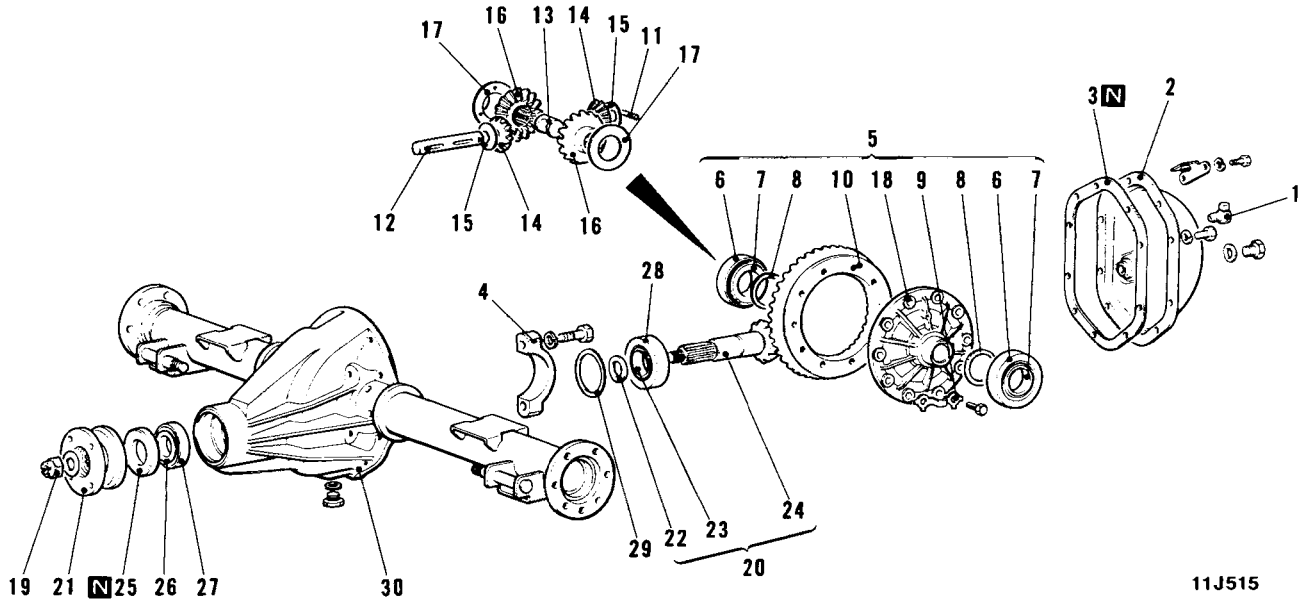
(1)サイド　ギヤとピニオン　シャフトの間のくさび（木製）を打込み，一方のサイド　ギヤを固定した後，ピニオン　ギヤにダイヤル　ゲージ（測定子を延長する）を当ててバックラッシュが標準値にあるか測定する。

標準値：0～0.076mm

限度値：0.2mm

(2)他方のピニオン　ギヤについても(1)項と同じ要領で測定する。
(3)バックラッシュが限度値を超える場合はサイド　ギヤ　スペーサーで調整する。
(4)調整が不可能な場合はサイド　ギヤとピニオン　ギヤをセットで交換する。

■分　解

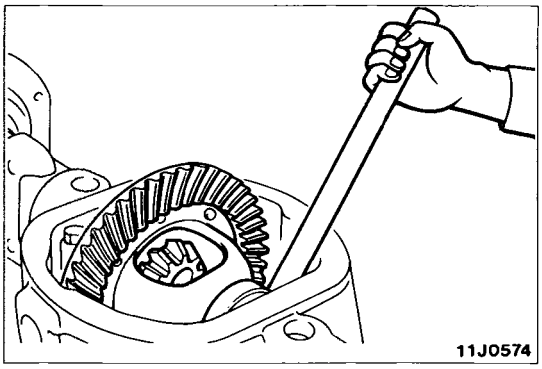


分解手順

1. ベント プラグ
2. キャリヤ カバー
3. ガスケット

● 分解前の点検(P.27-11参照)

4. ベアリング キャップ
◀A▶ 5. ディファレンシャル ケースAss'y
6. サイド ベアリング アウター レース
◀B▶ 7. サイド ベアリング インナー レース
8. サイド ベアリング アジャスチング シム
9. ロック ワッシャー
◀C▶ 10. ドライブ ギヤ
◀D▶ 11. ロック ピン
12. ピニオン シャフト
13. スラスト ブロック
14. ピニオン ギヤ
15. ピニオン ワッシャー
16. サイド ギヤ
17. サイド ギヤ スペーサー
18. ディファレンシャル ケース
◀E▶ 19. セルフ ロック ナッド
◀F▶ 20. ドライブ ピニオンAss'y
21. コンパニオン フランジ
22. ドライブ ピニオン フロント アジャスチング シム
◀G▶ 23. ドライブ ピニオン リヤ ベアリング インナー レース
24. ドライブ ピニオン
25. オイル シール
26. ドライブ ピニオン フロント ベアリング インナー レース
◀H▶ 27. ドライブ ピニオン フロント ベアリング アウター レース
◀I▶ 28. ドライブ ピニオン リヤ ベアリング アウター レース
29. ドライブ ピニオン リヤ シム
30. ギヤ キャリヤ



■分解の要点

◀A▶　ディファレンシャル　ケース Ass'y の取外し

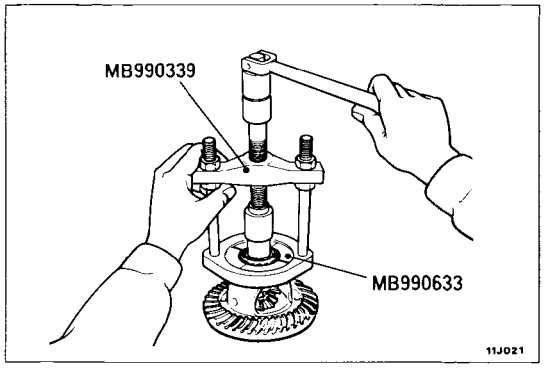
ハンマーの柄などを使用して，ディファレンシャル　ケース Ass'y を取外す。

注　意

- **ディファレンシャル　ケース Ass'y を取外す場合はゆっくり取外し，サイド　ベアリング　アウター　レースを落さないように留意すること。**

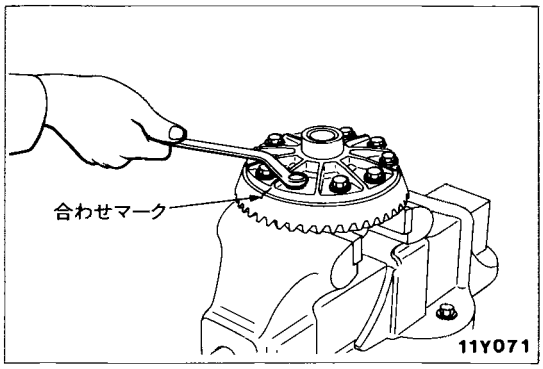
備　考

- サイド　ベアリング　シム及びサイド　ベアリング　アウター　レースは左右を区別して再組立時の参考とする。



◀B▶　サイド　ベアリング　インナー　レースの抜取り

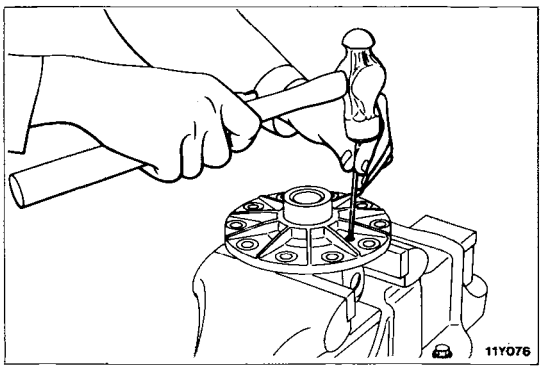
特殊工具を使用してサイド　ベアリング　インナー　レースを抜取る。



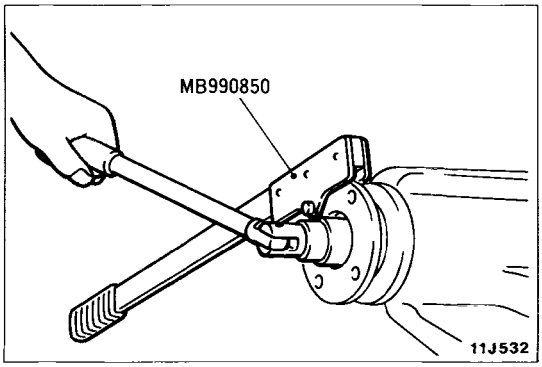
◀C▶　ドライブ　ギヤの取外し

(1)ドライブ　ギヤとディファレンシャル　ケースに合わせマークを付けて再組立時の参考にする。

(2)ドライブ　ギヤ締付けボルトを対角線順に緩めて行き，ドライブ　ギヤを取外す。

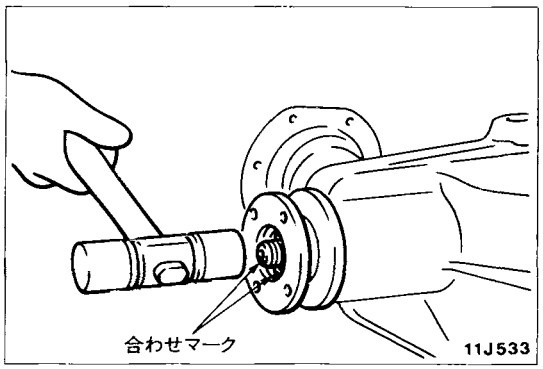


◀D▶　ロック　ピンの打出し



◀E▶　セルフ　ロック　ナットの取外し

特殊工具でコンパニオン　フランジを保持した後，コンパニオン　フランジ締付けセルフ　ロック　ナットを取外す。



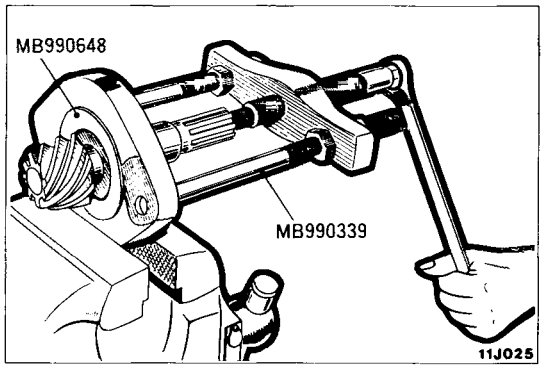
◀F▶　ドライブ　ピニオン Ass'y の取外し

(1)コンパニオン　フランジとドライブ　ピニオンに合わせマークを付ける。

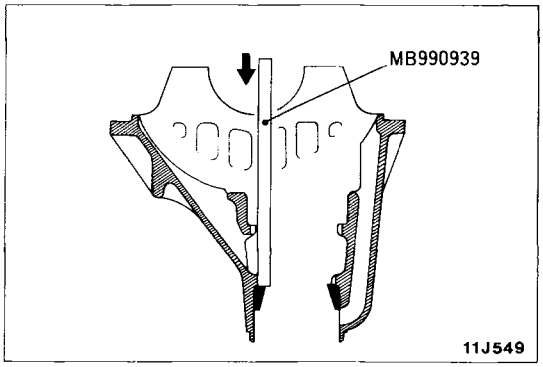
注　意

・合わせマークはコンパニオン　フランジとプロペラ　シャフトの接合面に付けないこと。

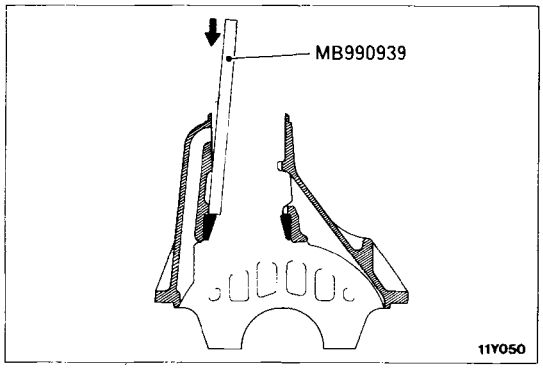
(2)ドライブ　ピニオンの先端部をプラスチック　ハンマーで打ち，ドライブ　ピニオンを抜取る。



◀G▶　ドライブ　ピニオン　リヤ　ベアリング　インナー　レースの抜取り

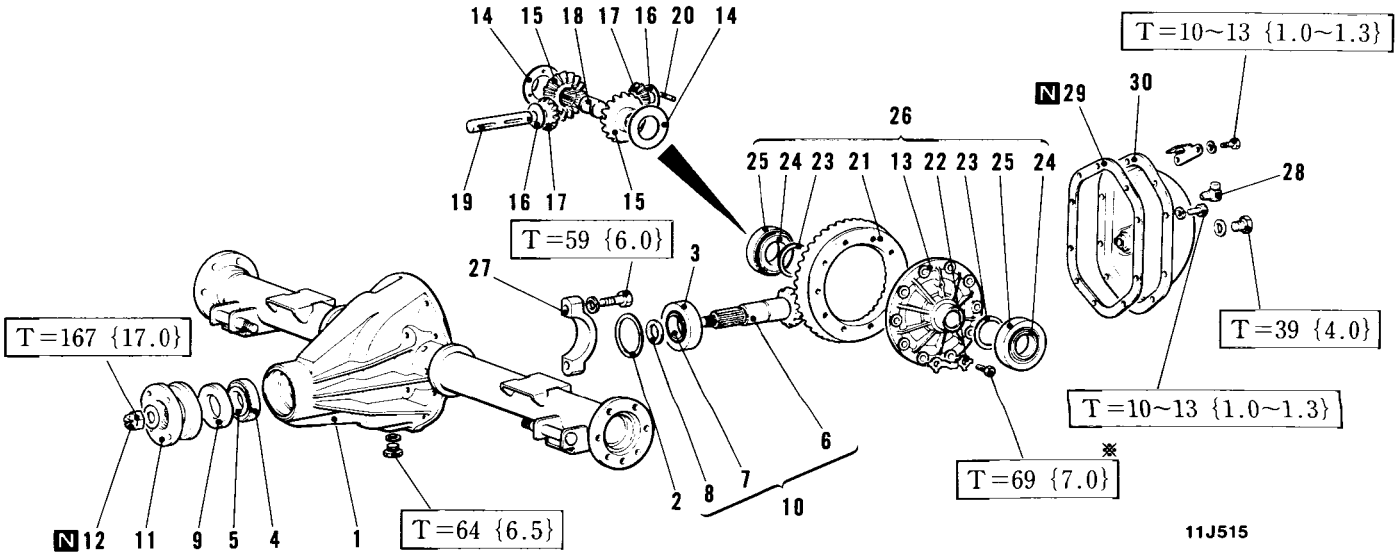


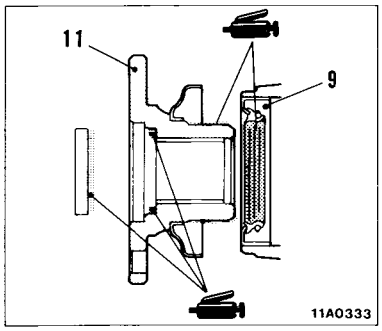
◀H▶　ドライブ　ピニオン　フロント　ベアリング　アウター　レースの抜取り

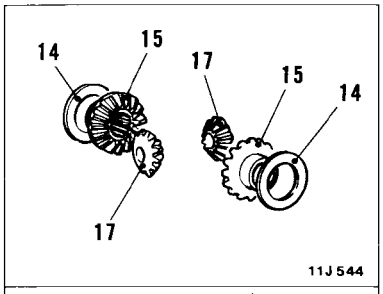


◀I▶　ドライブ　ピニオン　リヤ　ベアリング　アウター　レースの抜取り

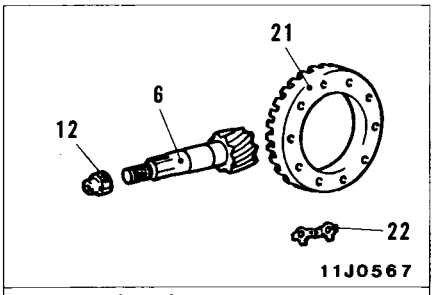
■組 立







ディファレンシャル ギヤ セット



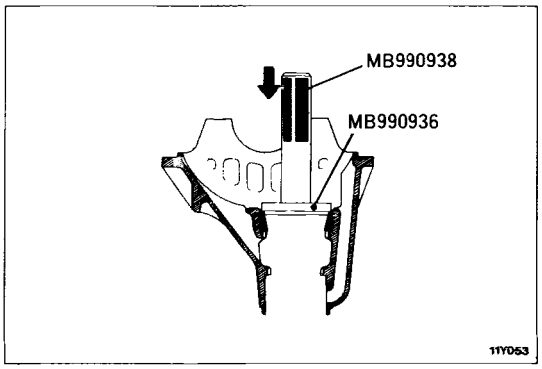
ドライブ ギヤ セット

組立手順

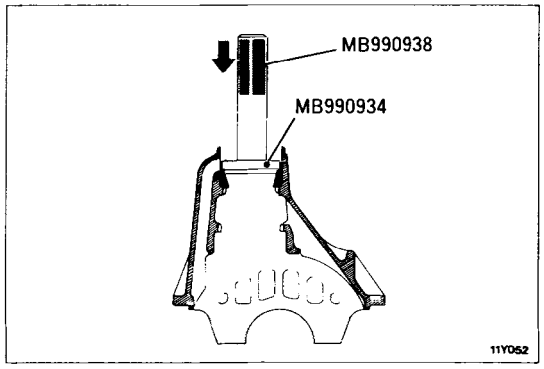
1. ギヤ キャリヤ
2. ドライブ ピニオン リヤ アジャスチング シム
▶A◀3. ドライブ ピニオン リヤ ベアリング アウター レース
▶B◀4. ドライブ ピニオン フロント ベアリング アウター レース
5. ドライブ ピニオン フロント ベアリング インナー レース
6. ドライブ ピニオン
▶C◀7. ドライブ ピニオン リヤ ベアリング インナー レース
8. ドライブ ピニオン フロント アジャスチング シム
▶D◀● ドライブ ピニオン ハイトの調整
▶E◀● ドライブ ピニオン回転トルク調整
▶F◀9. ドライブ ピニオン オイル シール
10. ドライブ ピニオンAss'y
▶G◀11. コンパニオン フランジ
▶H◀12. セルフ ロック ナット
13. ディファレンシャル ケース
14. サイド ギヤ スペーサー
15. サイド ギヤ
16. ピニオン ワッシャー
17. ピニオン ギヤ
18. スラスト ブロック
19. ピニオン シャフト
▶I◀● ディファレンシャル ギヤ バックラッシュの調整
▶J◀20. ロック ピン
▶K◀21. ドライブ ギヤ
▶K◀22. ロック ワッシャー
▶L◀● ドライブ ギヤ バックラッシュの調整
23. サイド ベアリング アジャスチング シム
▶M◀24. サイド ベアリング インナー レース
25. サイド ベアリング アウター レース
26. ディファレンシャル ケースAss'y
27. ベアリング キャップ
28. ベント プラグ
29. ガスケット
30. キャリ カバー

備 考
・※印締付けトルクはオイル付着状態を示す。

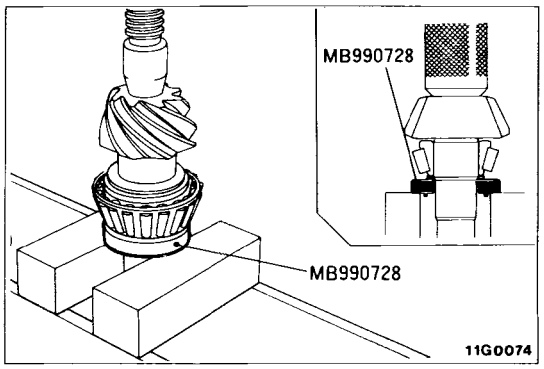
■組立の要点



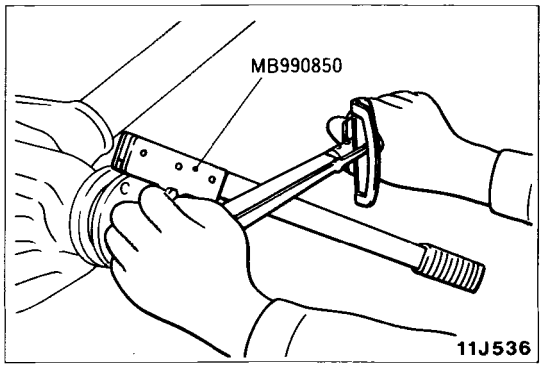
▶A◀　ドライブ　ピニオン　リヤ　ベアリング　アウター　レース の取付け



▶B◀　ドライブ　ピニオン　フロント　ベアリング　アウター レースの取付け



▶C◀　ドライブ　ピニオン　リヤ　ベアリング　インナー　レース の取付け

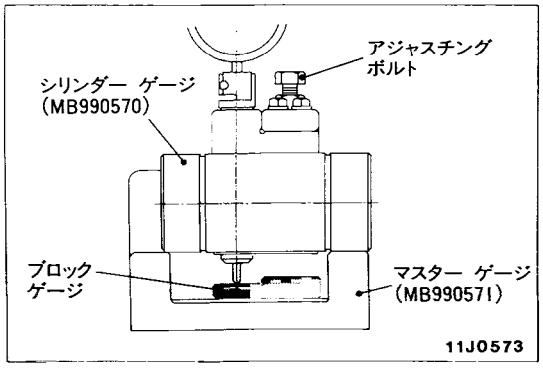


▶D◀　ドライブ　ピニオン　ハイトの調整

(1)ギヤ　キャリヤにドライブ　ピニオン Ass'y，コンパニオン　フランジの順で組付ける（ドライブ　ピニオン　オイル　シール無し）。

(2)特殊工具でコンパニオン　フランジを保持した後，セルフ　ロック　ナットを規定トルクで締付ける。

締付けトルク：167Nm {17.0kgfm}

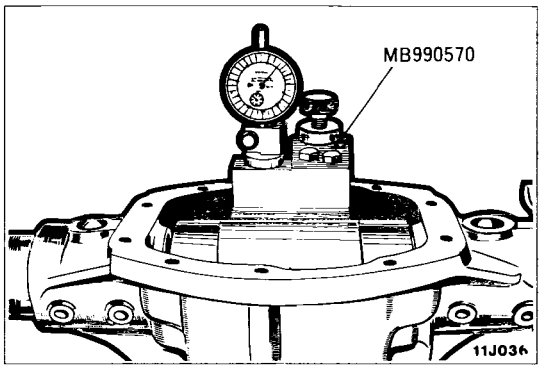


(3)特殊工具（シリンダー　ゲージ，マスター　ゲージ）をセットし，シリンダー　ゲージのホルダーにダイヤル　ゲージを取付ける。

注　意

シリンダー　ゲージの針をブロック　ゲージ（マスター　ゲージ）の高い方に乗せること。

(4)ダイヤル　ゲージがマスター　ゲージに対して直角になるように水準器等を用いてアジャスチング　ボルトで調整後，ダイヤル　ゲージの目盛を「0」に合わせる。

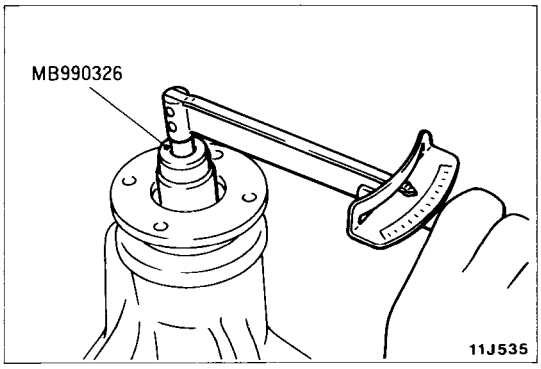


(5)アジャスチング　ボルト端面がキャリヤ　カバー取付け面に当たるように特殊工具（シリンダー　ゲージ）をギヤ　キャリヤにセットする。

(6)ダイヤル　ゲージの指針が0になるようにドライブ　ピニオン　リヤ　アジャスチング　シムを選択して調整する。

備　考

ドライブ　ピニオン　リヤ　アジャスチング　シムの使用枚数は最小になるように選択する。



▶E◀　ドライブ　ピニオン回転トルクの調整

(1)特殊工具を使用してドライブ　ピニオンの回転トルクを測定する。

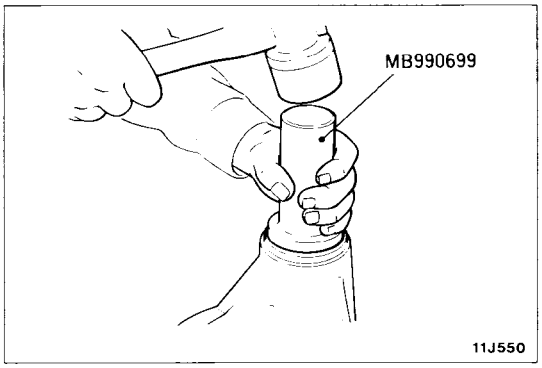
標準値：0.8～1.3Nm {8～13kgfcm}

(2)標準値を外れる場合はドライブ　ピニオン　フロント　アジャスチング　シムを選択して調整する。

備　考

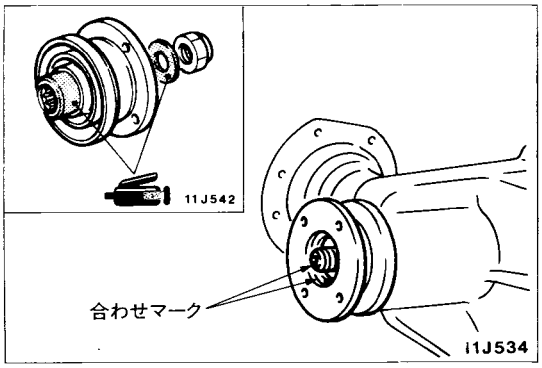
ドライブ　ピニオン　フロント　アジャスチング　シムの使用枚数は最小になるように選択する。

(3)ドライブ　ピニオン Ass'y を取外す。



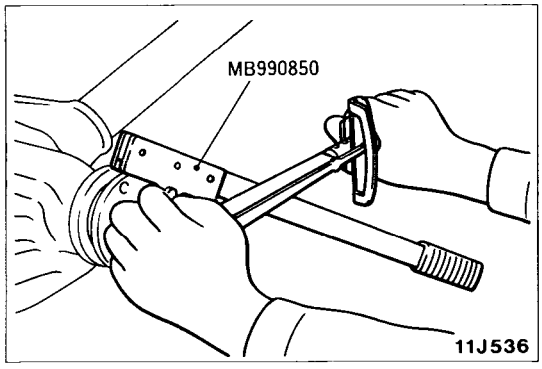
▶F◀　ドライブ　ピニオン　オイル　シールの取付け

特殊工具を使用してギヤ　キャリヤ端部から3～4mm打込む。



▶G◀　コンパニオン　フランジの取付け

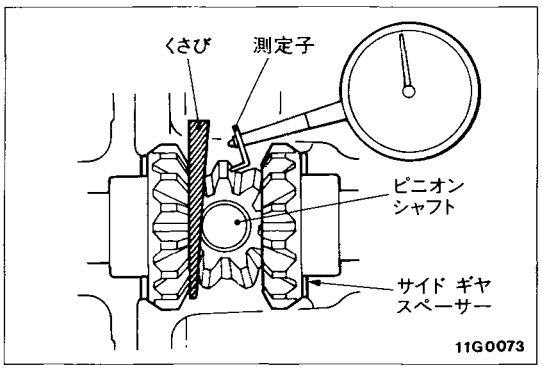
コンパニオン　フランジのオイル　シール当たり面にマルチ　パーパス　グリースを塗布した後，分解時に付けた合わせマークを合わせて取付ける。



▶H◀　セルフ　ロック　ナットの取付け

特殊工具でコンパニオン　フランジを保持した後，セルフ　ロック　ナットを規定トルクで締付ける。

締付けトルク：167Nm {17.0kgfm}



▶I◀　ディファレンシャル　ギヤ　バックラッシュの調整

(1)サイド　ギヤとピニオン　シャフトの間にくさび（木製）を打込み，一方のサイド　ギヤを固定した後，ピニオン　ギヤにダイヤル　ゲージ（測定子を延長する）を当ててバックラッシュが標準値にあるか測定する。

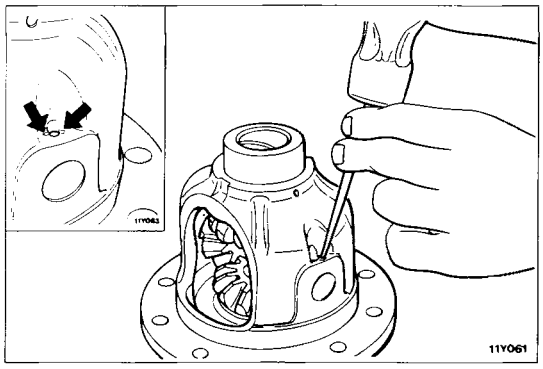
標準値：0～0.076mm

限度値：0.2mm

(2)他方のピニオン　ギヤについても(1)項と同じ要領で測定する。

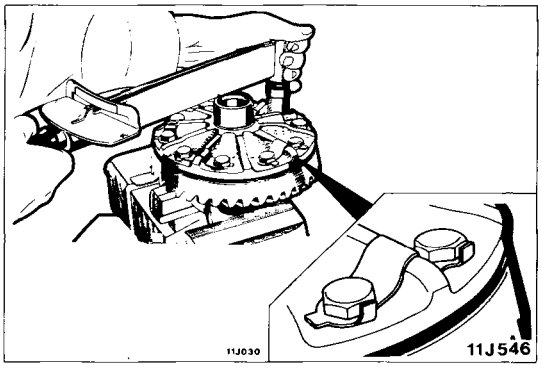
(3)バックラッシュが限度値を超える場合はサイド　ギヤ　スペーサーで調整する。

(4)調整が不可能な場合はサイド　ギヤとピニオン　ギヤをセットで交換する。



▶J◀　ロック　ピンの取付け

ピニオン　シャフトとディファレンシャル　ケースのロック　ピン取付け穴を合わせてロック　ピンを打込みポンチで2箇所かしめる。



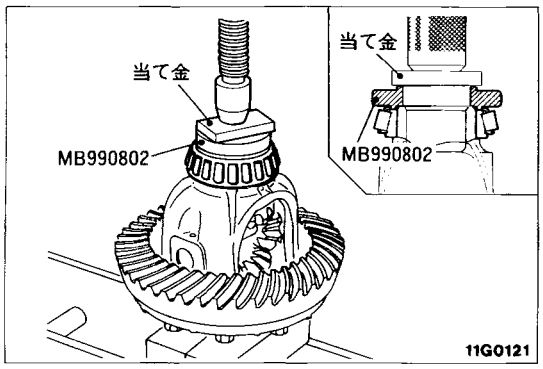
▶K◀　ドライブ　ギヤ，ロック　ワッシャーの取付け

分解時に付けた合わせマークを合わせてドライブ　ギヤの取付けボルトを全周平均に仮締めし，対角線順に規定トルクで締付けた後，ロック　ワッシャーをボルト六角面に合わせて折曲げる。

締付けトルク：69Nm {7.0kgfm}

備　考

ロック　ワッシャーの折曲げは各ボルトに1箇所で良い。



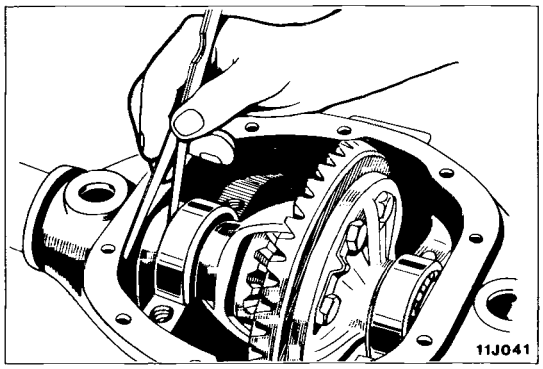
▶L◀　ドライブ　ギヤ　バックラッシュの調整

(1)特殊工具を使用してディファレンシャル　ケースにサイド　ベアリング　インナー　レースを圧入する。

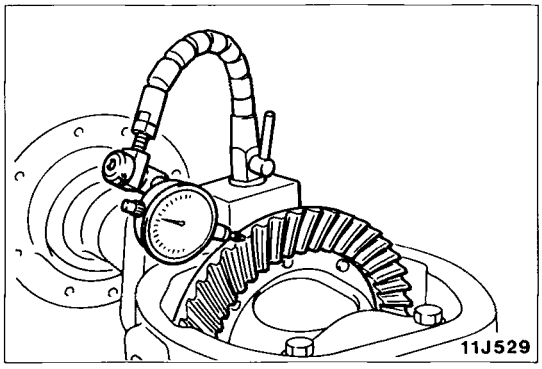
注　意

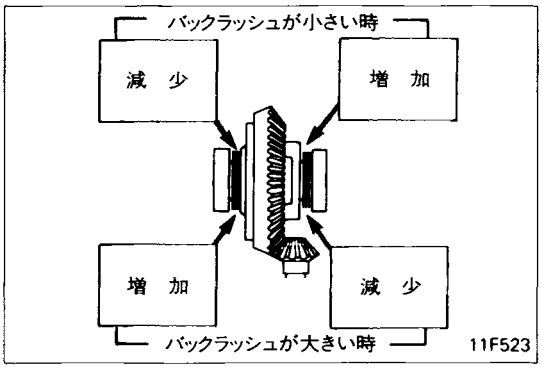
・サイド　ベアリング　アジャスチング　シムは組付けないこと。

(2)サイド　ベアリング　アウター　レースを取付けギヤ　キャリヤにディファレンシャル　ケースAss'yを組込む。

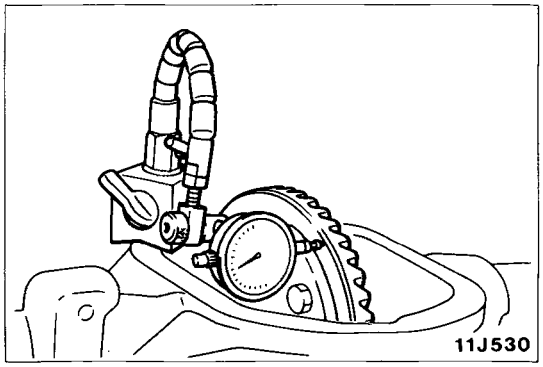


(3)ディファレンシャル　ケースを片側に押しつけてサイド　ベアリング　アウター　レースとギヤ　キャリヤとのすきまを測定する。
(4)測定したすきま量の½にプレロード量0.1mmを加えた厚さのサイド　ベアリング　アジャスチング　シムを2組選択する。
(5)特殊工具を使用してサイド　ベアリング　インナー　レースを取外し，（P．27－13参照）選択したサイド　ベアリング　アジャスチング　シムを左右に組付ける。
(6)特殊工具を使用してディファレンシャル　ケースにサイド　ベアリング　インナー　レースを圧入し，サイド　ベアリング　アウター　レースを取付け後，ギヤ　キャリヤに組付ける。
(7)ギヤ　キャリヤとベアリング　キャップの合わせマークを合わせてベアリング　キャップを取付ける。
(8)ドライブ　ギヤ歯端面にダイヤル　ゲージを当て，ドライブ　ピニオンを固定した後，ドライブ　ギヤを動かしてドライブ　ギヤのバックラッシュを測定する。
標準値：0.13～0.18mm

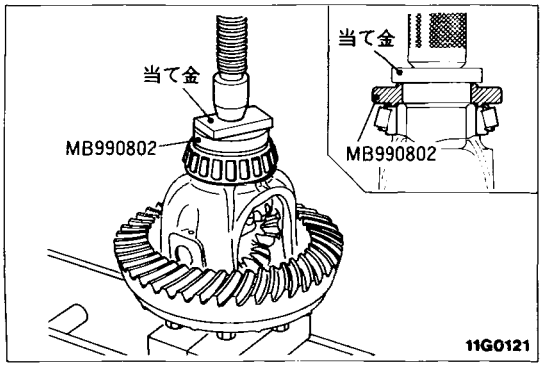




(9)標準値を外れるときはサイド　ベアリング　アジャスチング　シムを移動させて調整する。
備　考
サイド　ベアリング　アジャスチング　シムの増加は減少と同量ずつ行う。
(10)ドライブ　ギヤの歯当たりを点検し，不良のときは調整する。
（グループ26－ディファレンシャル　キャリヤ参照）



(11)ドライブ　ギヤ背面の振れを測定する。
限度値：0.05mm
(12)限度値を超えているときはドライブ　ギヤとディファレンシャル　ケースの組合わせ位置を変えて，再度測定する。
(13)調整が不可能な場合はディファレンシャル　ケース又はドライブ　ギヤ　セットで交換する。



▶M◀ サイド　ベアリング　インナー　レースの取付け